

直方炭坑労働争議

第二回

發生 昭和九年三月廿七日
解決 三月廿九日

直方炭坑労働争議 (第二回)

- 一、名 稱 直方炭坑 (坑主佐久間種吉)
- 二、場 所 直方市大字頓野
- 三、事業の種類 石炭採掘業
- 四、資 本 金 拾萬圓
- 五、従業員数 一〇〇名 (内女三六名)
- 六、争議参加人員 全員
- 七、關係労働組合 福岡日本石炭坑夫組合
- 八、争議發生年月日 昭和九年三月二十七日
- 九、争議發生原因

前回争議解決條件の一として配給所に置くべき白米が三月四日以來坑主旅行不在の爲缺乏を來したので、前調停者の一人たる門寺延次氏が白米を融通して一時を救きたるも三月二十

夜